

● 雜録

▲デヴォー造船株式會社等であるが、此他にも猶幾つかの參加を見る筈である。

大戰より受けたる歐洲の打撃は素より尠少でなく獨塊は勿論佛蘭西も伊太利も將又英國も戰後の財界に關して努力至らざるなき有様であるが此中で天與の資源豊饒なる屬領を世界諸方面に有する英國が戰時中巨富を贏得したる米國の活躍に對抗して行なら目覺しい計畫を實現して來るであらうとは多くの人々が豫期して居たところであらう、而して其一つとして現れ來つたものは蓋し英帝國の製鐵所大合同の事業である。合同としては英帝國第一の規模であり既に組織進行を見て此資本額は米貨五億弗に相當して居るが尤も之は普通にスチール・コー・ボレー・ションと呼稱されて居るけれども之は石炭及び運輸事業とも亦合同したるものであり、全資本金は五億弗として拂込額は二億七百萬弗と云はれ加奈陀に於て之に參加確定を發表されたる分は。ドミニオン・スチール・コー・ボレー・ション▲ノーヴア・スコシヤ・スチール・エンド・コール株式會社▲加奈陀汽船會社▲加奈陀ファウンドリー・エンド・フォーディングス株式會社▲マリタイム製釘會社▲コリングウッド造船株式會社▲ポート・アーサー造船株式會社▲ハリファックス船渠株式會社

ド・モーデン大佐の談に依ると普通株は本年中には募集され、又倫敦に於ける顧問としては、サー・ウイリアム・ベヤードモーア、ヘンリー・スチール氏、ファーネス子爵、サー・ニユートン・ムーア少佐等其他錚々たる連中が顔を揃へて居る。

大資本の下に大規模の經營を期するのが事業の爲に有利であることは、資本主義制度の下に於て通則たることは言ふまでもない、唯其經營振は刮目すべきであるが、此大合同の幹部當路が如何なる抱負と自信とを有するのであるか其れには、同事業の本元の倫敦の委員の秘書役たるロード・ハミルトン大佐の言を窺つて見やう、氏は曰く、「私は此新事業が米國の製鐵合同に對して脚下に一擊を加へるものなることを想つて居る何となれば事業は加奈陀の鐵と石炭とを英國の製鐵工業とに結びつけるものだからである」と、事業の唱説は大部分グランド・モーデン大佐が之に當つたもので、關係富豪はファーネス卿、サー・ニユートン・ムーア、ヘンリー・マッケンチー、ベン・チャミン・タルボット、ビーヴィアーブルック卿、デエームス・ホワイト、サー・デエームス・ベート、サー・ウイリアム・ベヤードモーア、ヘンリー・スチール、ダウグラス・ヴィツカースの諸氏であつて、之等の

協同を見る以上有力なること推して知るべしである、從來は米國の製鐵合同が銑鐵の市場を支配するを得たが、夫れは世界の銑鐵の最多量を支配したるが爲に非ずして、英國側に於て屬領と本國との間に原料の需給聯絡不十分なりしが爲に外ならぬ。今回の新事業が愈々實際運用の節に入つたなら必ず、目覺ましい作用をして見せることができるのである、此新事業の創立に多大の活動を爲し、今猶之を續けて居る、ダブルエー・グラント・モーデン大佐は同國の代議士であるが生れは加奈陀のトロント市である、最近加奈陀に見えて次のやうに語つた、「今日は適當なる協同事業が產業に必須の時期である、然し私の見たところでは今度の英帝國製鐵合同ほど科學的に、公正に且又保守的に進められたものはない、しかも之に伴つて英國と加奈陀との結合は鞏固にされて實質的に不可離のものとされたのである」云々と、大佐の言に見ると前途洵に隆々たるものがある、然しながら本件に關しては加奈陀人一般の間には必ずしも意見の一致はない、樂觀者もある一方に一概に賛同することを躊躇するものもある、暫く之を檢して見たい。

開會中の加奈陀議會に於て本件に關し眞つ先に質問の火蓋を切つたのはマントバ州スプリングフィールド選出のアーレ・エル・リチャードソン代議士であつた、ボーデン首相は米國南方へ轉地保養の不在中であつたので、彼は首相代理たるサー・デヨーデ・フォスターに對し「新計畫の製鐵は海

運との合同は新聞紙の報道によると今や實際的に創立は完了されたとあるが大臣は何等か聞くところあつたか、國中は之に大なる利害を感じる、而して合同の爲に海運貨率を昇騰する如きことはないか、之れ吾人の甚だ氣遣ふ點である」云々との質問を發したのであるが、大臣は「總て合同のことは知らしめられてない、合同を禁止すると如何となるものは必然的に有害のものではない、政府は今猶詳細なことは知らしめられてない、合同を禁止すると如何との問題は政府に於ては民衆が濫りに利用さるゝ如きことなか如何の點より斷すべきである、此職能に就ては政府は素より之を解るものでない」と答辯した、尤も五月上旬の頃は加奈陀首府ヲタワに於ても代議士の多數は事業の性質を既に熟知して居た、此と云ふのもヲタワの俱樂部で本件が非公式に發表されたのが僅々二三週以前のことと、政府黨代議士も自由黨領袖も共に出席しモーデン大佐は披露演説をやり多大の注意を喚起したことなのであつた、リチャードソン代議士はトロントの有力なる一財務家からの私信の内容などに觸れて疑問を挿み頻に政府の決意を求めたが議場は何れも討論の用意があつたので意見は多數發表され合

同の大賛同者も多數にあつた、政府黨と反對黨は兩黨何れにも夫々賛否雙方があり議場は賑つたが同問題を調査すべしとのリチャードソン氏の動議は撤回された、同日加奈陀の實業家は加奈陀が原料品の供給を殆ど全く米國に依頼して居ることを知らぬ者はない、加奈陀富源の開拓は此點より

して多數の注意と囁きを惹くものである、議場の批評に對しモーデン大佐はモントリヲルで吾々は米國の製鐵合同が有する量よりも多量なる此銑鐵を決して資本化せんとするものではないと辯明した。

本問題に關して倫敦發電の加奈陀に傳へられた所に依る。と倫敦に於ても論評は複雑のものであつた、帝國的に着眼する實業家は合同計畫を以て之れ帝國實業の協同結束の先登であると、加奈陀や南阿を指して此種の企圖を進めるとの好望なるを大に力説し英國が富の基礎を打建て近世的に大を爲したる主力は其石炭と鐵とにある、加奈陀其他が之れを考察して同様の地點に進むことは自家に有利である。

と共に帝國の利益である、況んや今や英國の礦產物は漸次涸渴に向はんとして居る際であると主張した、要するに倫敦の新聞紙は英國と加奈陀との此合同事業の件とメソボタミヤの油の富を英國が利用せんとする大計畫とを併記しての側では遽に首肯することを敢てせず、又新聞紙中でもウエストミンスター・ガゼットの加きは、製鐵合同の成功に疑ひを抱いた、倫敦タイムスは帝國的の見地より立つて之を歓迎した、加奈陀下院に於てはかなりの疑惑的批評が聞かれたが忽ち上院に於て反響がありニコルス氏の如きは盛に該事業の賛同側に立つて辯明し下院に於ける誤れる印象を是正するのが余の目的であると稱して自説を述べた、尤も

氏は自身合同に關係あるドミニオン製鐵會社の副社長たる人なのである。

要するに製鐵大合同は必然的に加奈陀の財界、事業界の注意を喚起したこと異常であつた、米國の製鐵と對峙して恐らく將來此方面では一段と英國が雙璧の觀を爲すであらう、從つて起る加奈陀の勞働界との交渉の如き將來問題を漸加して資本的大事業の一面には社會主義的運動が加奈陀を攬き拌ぜる時機も多大なるべきを豫想せざるを得ないのである。(大阪毎日)

◎鞍山製鐵所狀況

滿鐵會社經營の鞍山製鐵所は十箇年繼續一億圓の工費を以て一箇年銑鐵百萬噸を製出する目的の下に計畫せられたるものなるが、沿線立山驛附近に一大製鐵所を設け之が第一期計畫として一箇年十五萬六千噸の銑鐵を製出し尙屑鋼約二萬六千噸を購入補足し製品一ヶ年約十五萬噸を製出すべし、最近三箇年に亘り三千五百萬圓の工費を投じ一日二百噸を製出すべき鎔鑄爐二基並に之が附隨工事の建設に着手したるが爾來工事大いに進捗し既に昨年四月を以て、鎔鑄爐一基の竣工を告げ、次で九月他の一基も竣工し一期計畫に屬する諸工事既に完成を見るに至りたるが同製鐵所の原礦石は九礦山の一たる鞍山站鐵山より供給せられ、一つあり。同礦山は、大正五年三月日貨十四萬圓の中日合併振興

鐵鑛無限公司組織せられ同地一帶八箇所に於て一百六十五萬坪の採掘權を得たるものにして採掘したる礦石は全部之を同製鐵所に供給すべき約成立し目下採掘に從事せるは櫻桃園、大孤山及鞍山の三箇所なりと。

●米國鋼鐵組合支那に發展

米國鋼鐵業組合は上海事務所を開始する筈なるが、右支那の鋼鐵業界と大競争を開始するの發端たるべし、右鋼鐵業組合はベツレヘム鋼鐵會社其他獨立經營の鋼鐵業大會社を網羅せり。

●英國鐵材狀況

六月四日當市着電によれば、英國財界の動搖は其後多少緩和の傾向あり從つて鐵材等も再び強調子を稱ふるに至りたり、殊に銑鐵の如きは英國內地の石炭不足に伴ふ價格騰貴のため他の一般鐵材に比し四月二十三日の前電よりは約二割高値なりと云ふ其他鐵物相場は左の如し。

△アンダル(英)三百七十六圓(大陸)三百六十六圓、日本内地百六十圓△クリーブランド銑鐵百七十一圓(瑞西)二百四十一圓、内地百三十圓△板鐵一分五厘以上(英)三百七十圓△薄板(英)五百四十四圓(大陸)四百七十五圓△同二十七枚もの七百十七圓△平板八百七十六圓△生子板八百六十六圓△鉄力板百七十封度七十六圓百封度三十九圓。

●米鐵生產狀態

六月一日紐育發當地入電に據れば、米國金融界は目下一般に緊縮の狀態にあり從つて取引は自然閑散を免れざるもの鋼鐵市況は比較的强硬にてユーエス社の如き年内には鐵板及棒鐵類の賣物を出さざる方針にて、昨年上半期產出の分は邦貨に換算し神戸稅關渡し、一英噸二百五十圓を發表しコンソリデート其他の獨立會社も本年下半期積出約定は神戸渡二百七十五圓を唱へ居れりと而して目下の生產狀態は労働問題鐵道罷業等の爲三割乃至五割方の生產能率減退せしを以て、各社共現在の契約を完了するには勘くも一箇年の時日を要すべく、殊に九月より實施さるべき、鐵道運賃の三割方引上は鐵價の上にも影響歟からざるべく、觀測されつゝあり。尚紐育發當地入電米國相場によれば各品共にピッジバーク渡にて一頓に就き銑鐵はノザン四十八弗サザン四十三弗五十仙ベセマー四十三弗九十仙鋼片はベセマー七十二弗五十仙而して百封度に對し鐵板はタンクブレート四弗亞鉛引シート三〇番八弗五十仙鐵線は亞鉛引二八番四弗二十五仙鋼型は三弗五十仙鋼棒は四弗二十五仙鐵釘は六弗十九仙鉄力は一箱九弗唱へなりと。

●銑鐵輸出交渉

大阪鐵物商の組織にかかる自救會が市中投賣を買占むる方法を講じ市價維持に努め居れるも豫期以上の成績を見る

能はず、數日前更に鐵道省海軍省等に海外品の需要を見合せ市場在庫品の買上を陳情すべく、交渉する處ありしも政府に於て要する鐵材は一般民間の需要品と異り特種材料なるを以て其の目的を達する能はず、更に銑鐵の如きに至つては、釜石、輪西、東洋製鐵、本溪湖、兼二浦の五製鐵所の現在庫品一萬五千噸あり、若し目下の生産能率を以て起算する時は本年末迄には前記五製鐵所の在庫品は合計三十萬噸を下らざるべく、其結果著しき資金固定し到底維持困難に陥るやも計られず、此際飽迄救濟方法を策するの必要ありとし二三有志者は政府當局に陳情すると同時に當業者は過日來より米國に交渉し曩に輸入したる米國銑鐵の逆輸出を試みると同時に一面我國の生產品を米國市場に輸出し以て多少市場の緩和を計るべく、既に交渉中なるが目下下落しつつある内地市價と米國市場とを比較する時は後者に於ては尙一二割の高値なるを以て或程度迄は取引成立するならんと云ふが三井物産及び三菱商事にては此の間進んで海外輸出の交渉をなしつゝありと云ふ。

●銅鐵市況

銅鐵市場は依然閑散不振の商狀を持続し取引殆ど休止の状態なるを以て新規買含みのものも兎角手控へ勝なれば、相場も問屋筋は依然丸棒七圓揚み角七圓五十錢乃至八圓、平八圓乃至八圓五十錢厚板八圓乃至九圓、薄板十一圓乃至十二圓見當を唱へ居れるが氣配は之よりも安含みなり而し

て市場の大勢は先般來安値投賣を手控へつゝありたる筋も金融困難に遭遇し已むなく處分せざる可からざるもの生じ來れると共に此邊恰も二三月頃の高値取引物の決済期到来したる事とて之が支拂ひに窮するものも亦少からず、旁自救會が丸棒六圓を以て買收を發表したる際は殆ど實物皆無の状態なりし者昨今にては弗々之れが出現を見るに至れる模様にて旁先頃來稍々灰汁脱け商狀と見えたる市況も未だ充分の整理付き居らざりしと見る外なかる可し從つて市場の前途も或は一段の軟調を辿るなきやも測られずとなり。

●鑄鐵業者狀態

東京市内郡部を通じて鑄鐵工業は大小會社個人經營に關する者本所深川、芝、麻布、大崎、五反田、澁谷、大島、龜戸、平井、小岩、小松川、大森其他各地散在を合せ概略三百四十餘あり、是等鑄業中大會社は遠に恐慌の影響を受け事業を引締め居れるが個人經營に屬する者は大體に於て未だ其の影響を受けざる者多く殊に材料商の如きは却て前月より多くの註文を受け居れる程なりといふ。

●新潟の新鐵鑄

八幡製鐵所の新に經營すべき新潟縣北蒲原郡赤谷鑄山採掘鑄は赤鐵鑄にして鑄質良好、支那大治に比し遜色なし其

成分は

鐵分五十四乃至六十四ペーセント、燐〇、〇三一乃至〇、〇四一、硫黃〇、乃至〇、三、カルシウム〇、〇二五乃至〇、〇四、硅酸二、四八乃至一一、二八

等を含有し鑛量四百萬噸を有し準備完成の暁には優に二十萬噸を發掘し得べしとの事なるが最初は十萬噸を採掘する計畫なりと。

◎新著紹介

(一) 工學博士小野鑑正氏著「鑄物の強さ」は四六版壹冊紙數九十五頁にして一、組織二、鑄鐵の性質三、彎曲及捩り四、組織と強さ五、鑄造應力六、破壊の法則七、機械製作と鑄物等の各章より成り著者が昨年の春九州帝國大學の鑄物の科學講演會に於て講演せらるべきを病氣の爲め果さざりしかば此程之を纏めて出版せしものなりと云ふ。出版所丸善、正價金貳圓八拾錢、

(二) 理學博士井上禧之助氏著「歐羅巴特に佛獨に於ける大戰後の鐵及石炭」は菊版一冊五十九頁にして本會々誌第四年第十一號所載「歐洲戰場に於ける鐵產地領有の戰局に及ぼせる影響」の續編とも見るべきものにして最近東陽堂より出版せり。

◎特許

前號報告後鐵鋼に關係あるものを摘錄すれば左の如し。

第三五七三八號(大正六年六月四日出願大正九年二月三日特許、特許權者英國ヘンリー・アーノルド、デリーヴス外一名)

發明の性質及び目的の要領 本發明は二相及び三相の電流を配電する電弧爐又は抵抗爐に關し二相或は三相を以て一次に給電する方式に於て上部二電極と底部一電極との三電極を有する電氣爐と此爐に電力を供給する變壓器の

二次端子間に二箇の等しき抵抗及び此等より少なくて等しからざる一箇の抵抗を接續し得べくして又供給電源の諸相の負荷は電力並に力率に關して平衡を保ち得べき様になしたる變壓器装置との組合に係り其目的とする處は爐内の電極間に於て決して短縮を生ずることなく過負荷の範圍を制限し爐内の作用を優良ならしむるにあり。

特許請求の範圍 一、本文所載の目的に於て本文に詳記し添附圖面第一圖に示したる如く上部二電極と底部一電極との三電極を有する電氣爐と此爐に電力を供給する相は星形に結線せる三變壓器二次捲線の裝置より成り平衡せし負荷を有し上部の兩電極即ち集合電極に接續せる二捲線は出力及び電壓を等しくすると雖も底部電極に接續せる捲線の電壓は他の二つの何れよりも少なくて底部電極の抵抗に従ふ如き割合にある様にしたる三相電流分配變壓器裝置との組合。二、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く上部二電極と底部一電極との三電極を有する電氣爐に電力を供給するに當り上部電極を流通する電流が均等なるとき給電源の諸相に於ける負荷が平衡する様に下部電極に接續したる變壓器二次捲線に於ける電壓を變することを特微とする請求範圍第一項記載の組合せ。三、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く上部二電極と底部一電極との三電極を有する電氣兩端に接續し下部電極を二相給電源の他相に依りて給電せらるゝ變壓器二次捲線の一端に接續し該捲線の他端は最初の變壓器二次捲線の中點に接續することより成り孰れの電極に電流が通ずるとも給電兩相が負荷せるらる様にしたる二相電流分配變壓器裝置とより成れる請求範圍第一項記載の組合せ。五、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く上部二電極と底部一電極との三電極を有する電氣爐と上部電極に接續したる變壓器二次捲線の端子間の電壓は他の變壓器二次捲線の端子間の電壓の二倍(若くは底部電極に抵抗を挿入せば二倍以下)なれども上部電極を互に相等しき電流が流通するとき前記他の變壓器二次捲線に於ける電壓よりも常に大にして一次給電源の兩相に於ける負荷が平衡する様になしたる變壓器二次捲線の裝置とより成れる請求範圍第三項記載の組合せ。